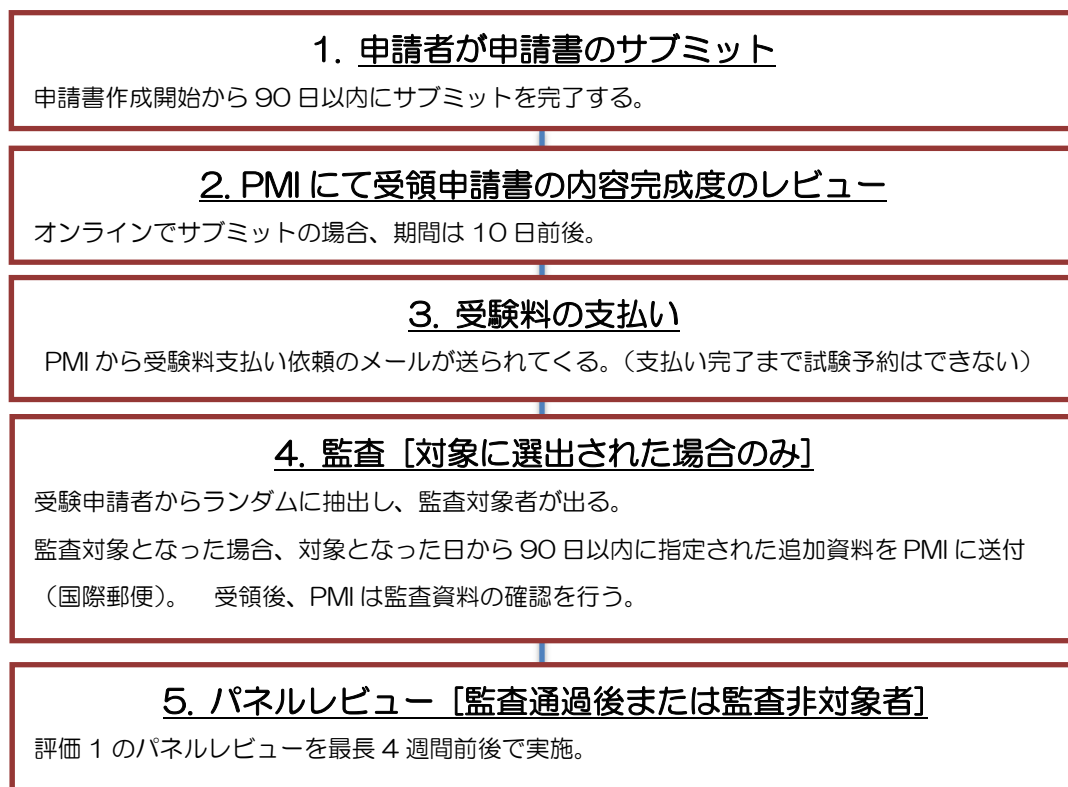


PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

PgMP 資格概観	複数の関連したプロジェクトを利用可能な資源を使って、組織の目標に合致するよう管理・監督できる資格であり、プロジェクトマネジメントより、一段と高度で、多くの経験、高いスキルや高い能力を持っていることを認定する資格。 プログラムマネジメントは、複数の関連したプロジェクトをグループとしてマネジメントし、単独のプロジェクトを単に集めたマネジメントでは得られないベネフィットを達成する方法。
-----------	--

PgMP 資格取得の手順	2つの評価プロセスを通る必要がある
評価 1 (Evaluation 1)	パネルレビュー：提出されたプログラムマネジメント実務報告書をもとに、PgMP 資格者による評価パネルで申請者が資格保有候補者と見なせるか否か評定を加える。
評価 2	複数選択試験：評価 1 を通過した後、ここでは状況対応に関する質問とシナリオに基づいた質問に対する能力を見極める。

資格認定プロセス（4. は対象となった場合のみ）



PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

6. 複数選択試験

パネルレビュー合格後、評価 2 に進み、1 年間の複数試験受験期間に移行する。

7. 資格認定期間

複数選択試験に合格した日から資格が認定される。

8. 資格の維持

3 年間に 60PDU を取得して、PMI ウェブサイトへログインし登録する必要がある。(CCR)

9. 資格の更新

60PDU を取得し PMI に登録後、更新料を支払って更新する。

10. 資格認定のサスペンド

3 年間の更新期間内に何らかの理由で更新できなかった場合、更新期日より 1 年間のサスペンド期間に入る。この期間内に、更新手続きを完了し、更新料を支払ったら資格が復帰できる。サスペンド期間は資格認定者ではない。復帰までにかかった期間も復帰後の更新期間として扱われる。復帰が遅れるほど、復帰後の更新期間は短くなる（最長 1 年短縮）。

11. 資格認定喪失

1 年間のサスペンド期間に何らかの理由で更新ができなかった、資格認定は取り消される。再度資格認定を受けたい場合、新規に試験申請から手続きが必要。

PgMP 申請前提実務条件

学歴別、直近 15 年以内の実務経験	高等学校卒	大卒、大学院卒
*1: プロジェクトマネジメントは PMBOK®ガイドに準拠した 5 つのプロセスに基づく	最短 4 年 (6,000 時間) のプロジェクトマネジメント*1 経験	
*2: プログラムとして共通の戦略に基づき、予算を共有する最少 2 つのプロジェクト	最短 7 年 (10,500 時間) のプログラムマネジメント*2 経験	最短 4 年 (6,000 時間) のプログラムマネジメント経験

PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

オンラインで申請しカードで支払う手順 コンピュータ・テスト(CBT)を想定

- 上記要件を基に受験申請書（アプリケーション・フォーム）を完成させる

<http://www.pmi.org/Certification/~media/PDF/Certifications/PgMP%20Application%20Form.ashx>

上記リンクからフォームをダウンロードし、事前に入力してみることを、次にそれを参照しオンライン画面で入力する

- オンラインで申請書をサブミット→ PMI が受領後 10 日間で申請内容確認を完了する
ただし、監査対象となった場合はこの限りではない

- 申請内容確認後、受験料支払い通知と LINK が送られてくる

- PMI 会員または一般のカテゴリーで指定された受験料を LINK から支払う

***** 支払い前に PMI 会員登録をされることを薦めます 初年度 139 ドル 次年度 129 ドル *****

	PMI 会員	一般
初回	800 ドル	1,000 ドル
再試験・再々試験	600 ドル	800 ドル
資格更新料（3 年毎）	60 ドル	150 ドル

受験料の返金について

受験可能期間終了（Eligibility 適用期限）の最遅 30 日前までに受験しないことを PMI に連絡した場合 [ただし、一度も受験していない場合のみ適用]	375 ドルの返金
監査不合格	375 ドルの返金
上記以外	返金はされない

監査について

PMI はランダムに抽出した受験申請書について監査対象とし、下記のような追加の資料を申請者に提出を求めることがある（監査対象となった場合、通知日より **90 日以内に一つにまとめた国際郵便またはクーリエ**にて、下記 PMI 宛先に送付

注意：FAX 送信は受け付けない

1 卒業証明書のコピー	できれば英語の証明書、無ければ自分で英訳を付記した証明書
2 サイン	• 実務経験に記載されたプロジェクトを管轄する上長またはプロジェクト・マネジャーの確認サインを取得 • サインした方の連絡先（e-mail と電話番号）を付けること
3 その他	上記に加え、監査通知書に記載されたもの
監査資料に関する注意	1. 英語または英語付記の資料を送ること 2. サインした方へ PMI から確認の連絡を入れることがある

PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

監査資料送付先 (変更される場合あり、 監査通知書を自分で確認)	PMI Attn: Certification Audit 14 Campus Blvd., Newton Square, PA 19703-3299 USA
提出後	提出資料は一つのパッケージにして送付すること。PMI は提出を受けた監査資料を精査し、監査合格か不合格かを判断する
監査合格の場合	評価 1 のパネルレビューが開始される。4週間程度でパネルレビューを通過できたか通知され、通過出来た場合には評価 2 の複数選択試験に進むことができる。
監査不合格の場合	375 ドルの返金となされるが受験資格はない

評価 1	パネルレビュー補足
開始	試験料の支払いが終わっていること 監査対象となった場合、監査を通過していること
レビューワー	ボランティアの PgMP®資格者達が、提出された申請書の中の PgM 経験サマリーの記載内容を元に、プロフェッショナルと見なせる経験を有しているか判定する。このパネルは、評価判定の訓練を受けた、世界中から選ばれたプログラムマネジメントの専門家達で構成されている。レビューワーの主観を防ぐため、レビューを受ける方の個人情報はレビューワーには開示されていない。
レビューの要点	組織が目指す共通目標に沿い、関連するコンポーネントを担う複数のプロジェクトの責任を持つ経験についてレビューする。
評価 1 合否	パネルレビューが不合格となった場合、認定アソシエイトが申請者に連絡をとり状況について討議する。 このレビューを合格しない限り評価 2 に進むことはできない。 レビューを合格した場合、評価 2 の試験に進むことができる。 繰り返しになるが、このプロセスは4週間程度掛る。

評価 1 の通過	合格した後の PMI からの送付情報
PMI からの送付情報 (e-メールにて)	• 試験予約に必要な PMI Eligibility ID
	• 受験可能開始日と終了日 (Eligibility 期間 1 年間) 注) 監査対象だった場合、監査を通過した日が開始日
	• 試験の予約手順情報
補足	3回/Eligible 期間まで受験可能 試験会場はプロメトリック指定会場 受験予約は-> http://pf.prometric-jp.com/testlist/pmp/jp/online.html

PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

評価 2	複数選択試験補足	
試験問題数	全 170 問 [現在、英語での提供のみ]	
	合否に係るもの 150 問	合否に無関係 20 問
試験時間	4 時間 [前後にチュートリアルとサーベイが別途 15 分取られる]	
休憩時間	スケジュールベースの休憩はないが個別に取得可能。 試験時間は個人が取得した休憩時間も含む。	
評価 2 の試験問題概観	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルから選ばれたプログラムマネジメント専門家により試験問題は作成され評価された問題を使用 ・プログラム、プロジェクトに関する事項を中心に出题されるが、PMI のグローバル標準外からも出题される ・設問設定はモニターされ、心理的分析を行って次の設問開発につなげている ・下記にある設問割り当て (PgMP Exam Content Outline) を満たすように作成している 	
設問割り当て (PgMP Exam Content Outline)		
ドメイン/サブ・ドメイン	設問の割合 [全体を 100%とする]	
ドメイン 1 ストラテジック・プログラムマネジメント (11 タスク)	15%	
ドメイン 2 プログラム・ライフサイクル (35 タスク)	44%	
立上げ 6 タスク	(6%)	
計画 9 タスク	(11%)	
実行 9 タスク	(14%)	
コントロール 6 タスク	(10%)	
終結 5 タスク	(3%)	
ドメイン 3 ベネフィット・マネジメント (8 タスク)	11%	
ドメイン 4 ステークホルダー・マネジメント (7 タスク)	16%	
ドメイン 5 ガバナンス (11 タスク)	14%	
合計	100%	

PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

スケジュール変更またはキャンセルについて	CBT の場合についてポリシーを記載		
<p>要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験予約日の3日前までなら、いつでも予約日変更や予約キャンセルをすることができる。 ・ただし、プロメトリック試験センターのキャパシティに限度があるため、予約済み受験日から指定日以内の予約変更やキャンセルについては手数料が発生する。 ・変更やキャンセルをしなければならないことが判った場合には、極力早めに手続きをとるべき。 			
1	<p>受験確定日から30日以内の場合、70ドルの手数料をチャージされる。 30日には受験日は含まない。下記例を参照！ プロメトリックの下記受験変更サイトで変更・キャンセルの手続きを進めると、クレジットカードに70ドルがチャージされる。チャージ者はプロメトリック。 PMI、プロメトリックとも電話やメールでの手続きは受け付けていない。 → http://pf.prometric-jp.com/testlist/pmp/jp/cancel.html URLが変更されている場合には、各自がプロメトリックのトップ・サイトからアクセスし手続きをとっていただく。</p> <p>例： 受験確定日 5月5日 変更・キャンセル手続きケース1: 4月5日～5月2日 70ドルの手数料 ケース2: 4月4日まで 手数料は掛からない</p>		
2	<p>下記のような緊急事態など特別な事情により30日前までに変更・キャンセル手続きが取れなかった場合、支払った手数料を戻すことがある。(情状酌量ポリシーの適用) ただし、ケース by ケースであり、PMI が内容を確認し判断して認めた場合に限る。</p> <table border="0" data-bbox="293 1301 1385 1444"> <tr> <td data-bbox="293 1301 759 1444"> <ul style="list-style-type: none"> ・急病 ・徴兵 ・近親者の不幸 </td> <td data-bbox="759 1301 1385 1444"> <ul style="list-style-type: none"> ・近親者の急病 ・天災 <p>× 仕事関連の事情は含まれない</p> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・急病 ・徴兵 ・近親者の不幸 	<ul style="list-style-type: none"> ・近親者の急病 ・天災 <p>× 仕事関連の事情は含まれない</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・急病 ・徴兵 ・近親者の不幸 	<ul style="list-style-type: none"> ・近親者の急病 ・天災 <p>× 仕事関連の事情は含まれない</p>		
3	<p>遅くとも受験確定日の前日から3日前までに変更手続きが必要 できなかった場合、キャンセルはできるが変更はできない。 キャンセルできて全額チャージされたまま、返金はされない。 その後、再試験予約をする場合、再試験料の支払いが必要。</p> <p>例： 受験確定日 5月5日 変更・キャンセル手続き日 5月2日 70ドルの手数料 5月3日 キャンセル可、変更不可 試験料返却されず</p>		
4	<p>1, 3 の手続きなく、試験を欠席した場合 (No Show Status)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支払われた受験料は返却されない。 ・再度試験予約をする場合、再試験料の支払いが必要。 		

PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

5	<p>2の状況に陥った後の対応について</p> <ol style="list-style-type: none">1. 試験確定日前 30 日を食い込んで試験の再スケジュールまたはキャンセルが必要となった場合、 即、プロメトリックの WEB サイトから再スケジュールまたはキャンセルの手続きをとる。70 ドルはチャージされるが、事故報告や診断書などを準備し PMI のカスタマーケアにコンタクトして返金要請をする。PMI が内容を了承した場合 70 ドルは返金される。2. 当日試験を受けられなかった（試験会場に行けなかった）場合、72 時間以内に PMI カスタマーケアにコンタクトする。1 でも必要だった証明書・報告書類を準備すること。事情を鑑み PMI で了承した場合には、ペナルティーなしで再スケジュールまたはキャンセルを受け付ける。 <p>→ mailto: customercare.asiapac@pmi.org → 電話: +65 6496 5510 → FAX: +65 6336 6449</p>
6	<p>PMI 資格試験の保全と秘匿性について</p> <ul style="list-style-type: none">• 試験に関係する問題、資料等試験会場から持ち出すことは禁止です• 試験の合否結果を第三者に開示する場合、開示する内容（受験日、合否判定結果など）を明記したドキュメントをもって PMI に承認を得る必要があります。• 受験申請者は申請時点でハンドブックの最後に記載の” PMI Certification Application/Renewal Agreement” に従うことに合意しています。
7	<p>試験会場で求められる ID、禁止事項など</p> <ul style="list-style-type: none">• 政府官庁発行の ID 以下のものが記載/掲載されていること<ol style="list-style-type: none">1. 英語記載または翻訳2. 写真3. サイン <p>上記に満たない場合（写真なし、サインがない）、副次的 ID を併せて使用すること有効期限内で名前が印字してある必要があり、写真と（または）サインが併記されていること</p> <ol style="list-style-type: none">• 上記 ID は試験日通知書に記載された名前と一致していなければならない（損傷のあるものは通用しない）• ID はオリジナルでなければいけない、コピーされたものは通用しない• 上記条件に例外承認はない <p>上記条件により試験会場入室を断られた場合には、当該試験に関する支払いの返却はされない。再度受験を希望する場合には、別途有効な ID を準備して再試験予約と再試験料を支払わなければならない</p> <p>ID として有効なもの：（期限が有効であること） パスポートのみ / 以下米国では、ミリタリーID / 運転免許証 / 国民カード</p>

PgMP®資格認定試験ご案内 Rel. 1.1

	<p>IDとして副次に有効なもの（有効IDに併せて利用 いずれも期限が有効であること） 運転免許証 / 社員証 / サイン入りのクレジットカード / ATMカード</p> <p>IDとしては無効なもの 社会保障カード / 図書館カード</p>		
8	<p>名前変更手順 受験承認レターに記載された Eligibility ID を受領後、そこに記載された受験者名を変更しなければならない場合、即、下記コンタクト先で変更手続きを取る必要がある。 必要な情報は、試験会場で提示予定の有効な ID に記載された</p> <ul style="list-style-type: none"> • First Name (名) [• Middle Name] • Family Name (姓) <p>注) 変更依頼手続きを取った日が、試験確定日前 5 営業日内の場合、PMI は試験確定日までに処理完了の保障はできません。 日本支部コメント：安全を見て 8~10 営業日前までに手続きをとるようする。</p> <table border="1" data-bbox="284 801 1385 996"> <tr> <td data-bbox="284 801 790 996"> <p>mailto:CertQuestions@pmi.org FAX: +1 610 482 9971 Attn: Name Change for EXAM</p> </td> <td data-bbox="790 801 1385 996"> <p>左記の他に日本語で依頼する場合、 正式ルートではないが、対応を依頼する。 mailto: customercare.asiapac@pmi.org 要件：受験者名変更処理依頼</p> </td> </tr> </table>	<p>mailto:CertQuestions@pmi.org FAX: +1 610 482 9971 Attn: Name Change for EXAM</p>	<p>左記の他に日本語で依頼する場合、 正式ルートではないが、対応を依頼する。 mailto: customercare.asiapac@pmi.org 要件：受験者名変更処理依頼</p>
<p>mailto:CertQuestions@pmi.org FAX: +1 610 482 9971 Attn: Name Change for EXAM</p>	<p>左記の他に日本語で依頼する場合、 正式ルートではないが、対応を依頼する。 mailto: customercare.asiapac@pmi.org 要件：受験者名変更処理依頼</p>		
9	<p>試験会場でのチェックインと試験</p> <ul style="list-style-type: none"> • 試験日の開始予約時間の 30 分前に会場に入る • 本人確認の有効 ID や Eligibility ID、試験予約した時の確認番号(Confirmation Number)等の確認を受けて、予約シートに着ける準備を済ませる <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遅刻は認められず、試験は受けられない（受けられなくても個人の責任となる） • テスト中に不正が発見された場合、退出を求められ試験結果は消去される（受験したことになり、かつ不合格判定が下される） • 合否はその場で提供される。 • 合否に関わらず、詳細レポートにもアクセスできるが、受験日の 10 営業日後となる。 		
10	<p>持ち込めないもの 食べ物、飲み物、計算機、モバイルフォン、目薬、時計、薬、辞書、カバンなど他にも多々あり。</p> <p>キー付きロッカーが提供されるので、試験終了まで個人の持ち物はそちらに保管する。</p> <p>試験用に提供されるもの コンピュータに組み込まれた計算機機能、「鉛筆と雑記用紙」または「マーカーとボード」 （後者については選択は不可）</p>		